



西中の風

伊丹市立西中学校長
大西 規之

「学校評価」への対応

1月に実施しました「学校評価」の中で、記述によりいただいたご意見について、全体に関わること、ご意見が多かったことにつきましては、以下のように対応することとしましたのでお知らせいたします。

※3年生が卒業後の対応となりますが、3年生の保護者の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。

1. 校則で時代にそぐわないようなものは見直してもいいのではないか。
 - A、校則に関しては、今年度校則改定委員会（生徒、保護者、教職員の各代表者が構成員）を開催し、冬季における女子の黒タイツ等の着用については全会一致で認める決定をしました。また、以前から要望いただいています下着、靴、靴下等の色についてもアンケート（生徒、保護者、教職員対象）を採り、検討してきました。これについては、賛否両論ありますので、来年度も引き続き校則改定委員会や全校生徒で検討し、早期に結論を出していきたいと思っております。それ以外の校則についても同様に行いたいと思っております。
2. 雨の日に濡れた靴で1日を過ごすことは健康上よくない。登校靴と学校で過ごす靴は変えて欲しい。
 - A、施設の関係上、下足場を設けることができないため、上靴は認めることが難しい状態です。ただし、生徒手帳のP. 12に「雨天時の登下校に雨ぐつを使用してもよい。学校では運動ぐつにはきかえる」と記載されていますので、そのようにご対応願います。
3. 下校時歩道を広がって帰っているのでもう少し端を歩くように指導してほしい。
 - A、今までも地域の方から同様のご指摘をいただき生徒への注意喚起や登下校指導を行ってまいりましたが、今後も同様に、随時全校生徒への指導および教職員の立ち番等を行っていきたく思います。また同時に、ご家庭でも広がって歩かないようご指導願います。
4. 担任へ生徒手帳を提出せずとも日傘使用ができるようにしてほしい。
 - A、生徒手帳への記入の有無については、再度検討し、夏季前にプリントにてお知らせいたします。
5. 部活動の際、ランニング等で息が切れた時などに、みんながマスクを外してお喋りをしていると聞いている。感染症対策への指導をしてほしい。
 - A、熱中症防止や息苦しきの軽減の観点からマスクを外すことを許可しています。ただし、その場合は生徒間の距離を十分に確保し、会話は極力避けることを前提としています。再度マスクを外した場合について指導の徹底を図りたいと思っております。
6. 部活動の顧問やコーチの外部委託をもっとすすめてほしい。
 - A、県、市教育委員会が、外部コーチや部活動指導員を配置する事業を行っており、今年度も4つの部活動に外部コーチを配置してもらっています。今後も、より多くの部活動に配置してもらえよう市教育委員会へ要望して参りたいと思っております。
7. コロナ禍で緊急事態宣言が出ている中、部活動を実施することに疑問を感じる。
 - A、緊急事態宣言中においては、県が示す方針に基づき、活動場所を校内のみとし、感染リスクの高い活動は行わないなど、感染症対策の徹底を図りながら活動しております。また、毎日の健康観察の実施に加え、風邪症状がある生徒は欠席、用具等の消毒など、感染予防に努めながら活動を行って参りますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。
8. 臨時休校の時などに、リモート授業ができるよう指導してもらえると、パソコン等の扱いに慣れると思う。
 - A、再度の臨時休校に備えて、普段から学校でタブレットを活用することにより、家からでも操

作できるよう今後指導していく予定です。

9、ミマモルメをもっと活用したら、配布する手紙等を減らせるのではないか。

A、ミマモルメも含め、学校連絡のデジタル化について検討中です。

10、学習用タブレットで課題ができるようにしたら、先生方のチェックも楽になり、保護者も提出状況や成果を確認できるのではないか。

A、現在、要望のようなことができるよう市教育委員会を中心に整備を進めているところです。

11、もう少し教室や廊下の壁などがきれいにならないのだろうか。

A、旧館、体育館棟など、これまでに大規模改修を行っていただききれいになりました。最後に残された本館は、令和3年度の夏休みに、大規模改修工事を予定しており、その際校舎内の壁もきれいに補修されます。その他の場所に関しては、補修が必要な場合はその都度修繕して参りますので、ご理解の程よろしくお願ひします。

12、子どもたちの思い出となる行事を少しずつでも行ってほしい。

A、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、市教育委員会等とも連携し、可能な限り実施していく予定です。

13、アンケートなどの選択肢に「わからない」の回答欄があるといい。

A、アンケートの集計および分析を、肯定的意見か否定的意見かのどちらかで経年変化も含めて分析をしています。そのため、4つの選択肢から選り回答していただいています。どうしても判断に迷われるときは、お子様に尋ねていただいても結構です。ご協力の程お願ひいたします。

14、教科を問わず、複数人（グループ）でのディスカッションを行い、問題点（疑問点）を見つけ合い、発表者をローテーションする場を設け、人に物事をわかり易く説明する技術を養う機会をもつと与えて欲しい。

A、本校では、各クラス、各学年で1分間スピーチに取り組み、自分の思いや考えを聞いている人にわかりやすく伝える取り組みを行っています。また、授業においても、「授業スタイル」として、グループワーク（個人→ペア→グループ→クラス等で意見交流、説明、発表、評価）を積極的に取り入れるようにしています。しかしながら、教科書を進めなければならないことから、全ての授業で時間を要するグループワークを行えているわけではありません。特に、

今年度は新型コロナウイルスの影響で、密になるグループワークはひかえておりました。今後は新型コロナウイルス感染症対策もしながらグループ活動を取り入れ、人にわかりやすく考えを伝える力をつけさせていきたいと思ひます。

日々ホームページ更新中！！



